

科目名	芸術（美術）Ⅰ Art (Fine Arts) I			担当教員	永井 崇幸 (窓口教員：坂本具償)		
学 年	1 年	学 期	後期	履修条件	必修	単位数	1
分 野	一般	授業形式	実技	科目番号	17120011	単位区分	履修単位
学習目標	写実描写，構想画，デザイン画などの絵画表現や鑑賞を通して，創造力を伸ばし，豊かな感性と心情を養う。言葉では表現できないことを感じる美意識を深める。						
進め方	相対するイメージを比較することでその本質を見定め，イメージを膨らませて自己の表現を追求させる。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 鉛筆デッサン— ペンを持った手（2）			鉛筆で明暗をつけ，手の立体感と質感を表現する。 2つの異なる物質を表現する際には，質感や大きさなどが相互に関わりあうことを知る。 学習・教育目標 (A-1)			
	2. 記憶の絵地図（6） 着彩			自分がすごした幼児期・年少期を思い出し，他の人が見てわかりやすい表現をする。 自宅周辺をあらゆる絵画表現方法を使って，分かりやすく楽しい絵地図として表現する。 (A-1)			
	3. 構成と表現 (1) 色彩の学習（1） (2) 「楽しい」と「悲しい」の表現（3） 着彩 (3) 「寒い」と「暖かい」の表現（4） 着彩 (4) 「軽い」と「重い」の表現（5） 着彩			色の知覚・心理的効果を学習して，効果的な色彩表現を学ぶ。 枠の中に着色できる。混色が出る。 比較することで観念的でないイメージを膨らませる。 形と色によって，言葉で表現できない表現が可能であることを認識する。 (A-1)			
	4. 精密描写（8） 鉛筆デッサン，着彩 後期末実技評価（1）			身近にある工業製品の精密描写を試みることで機能美，材質の特性，ロゴマーク，配色などを学習し，立体的な表現が出る。 デッサンをして立体感のある表現をする。 何度も塗り重ねる透明水彩の技法を習得する。 (A-1)			
評価方法	自己のイメージをどのように豊かに表現出来ているか。 学習内容の全実技作品を時間数の割合で点数化して評価（90%）（作品が授業時数に相応しい内容で完成。60%），制作態度(10%)を考慮して総合的に評価する。						
履修条件	特になし						
関連科目	芸術Ⅰ(美術)（1年） → 芸術Ⅱ（美術）（2年）						
教 材	スケッチブックと絵の具（アクリルガッシュ）を購入。（2年間使用）						
備 考	自主的に美術館・ギャラリーなどの鑑賞を奨励。鑑賞レポートは随時受け付け，評価に加える。 単位追認は，未提出・未完成の作品を完成させて提出する。						